



学校だより

5月号(第04-02号)

令和4年5月31日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL : 5 9 1 - 4 1 8 3

あいさつは『相手の心の扉を開くカギ』

副校長 長谷部 宏行

高田中学校に赴任して2年目を迎えました。新年度も2か月が過ぎ、入学式を雪のように舞い散る花びらで新入生を祝福した桜の木も緑の葉が生い茂り、花ボランティアの皆様が正門と高田園花壇の花の植替えをしてくださり、季節の移り変わりを目で楽しんでいます。また近隣の荏原花園様からマリーゴールドとブルーサルビアを寄付していただき、こちらもあわせて高田園花壇に植えて



いただきました。日差しが強く、とても暑い中、本校のためにご尽力いただき、心から感謝申しあげます。

2か月が過ぎ、1年生も入学、日々の授業、委員会活動、部活動、そして体育祭。いろいろなことを経験し、中学校での生活に慣れてきました。2、3年生も新しい環境、上級生、最上級生という立場にも慣れてきました。各学年とも校外行事に向けた準備活動を通し、班で、クラスで、学年で、一緒に活動しながら固さがとれてきています。朝、昇降口ですれ違う生徒の「おはようございます」のあいさつも4月初めのころの固さがとれてきたのを感じます。大きな声で「おはようございます」。コクリと会釈の「おはようございます」。マスク越しでもはっきり笑顔とわかる「おはようございます」。生徒の数だけみんな違う「おはようございます」。

心のドアノブは内側にしかついていない

心の扉は他人がいくら開けようとしても開かないものです。しかし、相手に対して信頼・信用が生まれると開こうとする——それが心の扉です。そして、その扉を開くカギとなる「第一歩」、それがあいさつではないでしょうか。「おはようございます」——それだけでは、「ありがとう」のような感謝の気持ちも、「すみません」のような謝罪の気持ちも伝わりません。その語源は歌舞伎から来ているというのが有力なのだそうです。現在はそれだけでは特別な意味を相手に伝えない言葉です。しかし、この魔法の言葉をお互いが発した時、同じ社会・集団の仲間だという気持ちが高まります。学校の「仲間」、家庭内の「仲間」、住んでいるまちの「仲間」。

今、多くの学校で「あいさつ活動」を行っています。学校・家庭・地域が連携して、いろいろな角度から子どもたちの成長を見守っています。共に生活している集団の「仲間」として、悪い「芽」を小さいうちに摘み、良い「芽」をのばして、一人ひとりが持つ可能性という名の大きな花を咲かせ、見事な実を实らせる姿を、あいさつを続けながらこれからも見守っていきたいと思っています。

学校生活における熱中症予防とマスクの着用について

現在、学校では、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用をお願いしていますが、5月も下旬となり熱中症も懸念される状況となっています。熱中症予防とマスク着用については、横浜市教育委員会より次のように通知されています。

《マスクの着用について》※「横浜市立学校 熱中症対策ガイドラインの改訂について（通知）」より

学校生活ではマスク着用を基本としていますが、屋外で距離を取って活動する場合にはマスクを着用する必要はありません。特に、気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日には、熱中症等による健康被害が発生するおそれがあることから、WBGT 21℃以上の場合、屋内外に関わらず、体育の授業や部活動等運動時はマスクを外すよう指導してください。その際、屋内では換気の悪い空間とならないよう換気設備を適切に運転することや、窓を開け外気を取り入れる等の十分な換気を行うこと等に注意してください。ただし、授業前後の着替えや移動の際、授業中、教師による指導内容の説明やグループでの話し合いの場面、用具の準備や後片付けの時など、運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用してください。

また、登下校中におけるマスクの着用については、熱中症のリスクを回避することが難しいことから、健康被害が発生する可能性が高い場合には、人との距離を十分に保つよう注意すること、なるべく会話をしないこと等に気を付けて、マスクを外すよう指導してください。学校により登下校の状況は異なりますので、児童生徒に具体的に指導していただき、保護者の方、地域の方の理解や協力を得ながら対応していただきますようお願いいたします。

通知を受けて、本校では熱中症による健康被害が発生するリスクなどを考慮し、主として屋外で周囲との距離を保って活動する場合や、屋内では距離に加えて換気への配慮等を前提に、熱中症対策として適宜マスクを外すよう指導します。ご理解、ご協力をお願いいたします。次のような場面を想定しています。

○ WBGT 21℃以上の場合、屋内外に関わらず、体育の授業や部活動等の運動する場面

※ 授業前後の着替えや移動の際や、授業中の教師による指導内容の説明やグループでの話し合いの場面、用具の準備や後片付けの時など運動を行っていない場面では、可能な限りマスクを着用する。

○ 健康被害が発生する可能性が高いと判断されるような状況下での登下校中の場面

※ 人との距離を十分に保ったり、会話を控えたりする等の点に留意する。

なお、体質等によってマスクを着用できない生徒、マスクを外したくない生徒が、マスクの有無によって差別やいじめの対象とされることのないように、引き続き指導してまいります。

ご家庭におかれましても当件につきましてお子様とお話をいただけますようご協力をお願いいたします。また、地域の皆様方にも本校の熱中症対策につきまして、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

【学びの風景～コロナ禍反省からの試行】

新型コロナウイルス感染症対策のために、行事や授業参観等で保護者の皆様にご来校いただくことが厳しい状況が続いています。学校にお越しいただくことで、学校の空気や雰囲気などを直接感じ取っていただき理解を深めていただくことができず残念に、そして申し訳なく思っており、一方、そんな中でも、変わらずに高田中学校の教育活動にご理解とご協力をくださっている保護者様・地域の皆様に感謝をしています。

高田中学校の学びの様子を少しでもお伝えできるよう、『R4年度のコロナ禍による行動制限がある中での試行』として、これまでの諸発信物に加え、週一程度を目途に学校HPに学びのワンシーン写真を掲載していくことに致しました。小規模校のため体制・体力的に限界があります。あくまでもできる範囲での試行となりますがご理解いただけますと幸いです。よろしければ、気が向いたときになど、時折、高田中学校HPを覗いてみてください。 URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/takata/>

5月10日（火） 育学年GIGA開き



5月19日（木） 第27回高田中学校体育祭



5月13日（金） 高田中図書館の様子



【その他】

昨年度3月に、「社会とつながる学び」として、横浜市大で起業家人材論をテーマとされている芦澤准教授とケアテック分野で台頭目覚ましいスタートアップ企業の株式会社ウェルモの木村様から「起業とは、スタートアップで働くって？ここに至るまでのご自身のお仕事の変遷や背景」などを、起業家キャリア教育として卒業間近の3年生にお話いただきました。その様子が横浜市大HPに掲載されました。

URL https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2022/seminar_takada.html